

橋梁の維持管理に関する 新技術フォーラム 2025

～橋梁の健康寿命を延ばし、脱炭素社会の構築に寄与する～

現在、我が国の橋梁は確実に高齢化が進行しており、計画的かつ適切な維持管理が喫緊の課題となっています。

橋梁を健全な状態で長く活用し続けることは、CO₂排出量の多い「撤去・新設工事」を減らすことにつながり、脱炭素社会の実現にも大きく寄与する重要な取り組みです。私たちは、この橋梁の長寿命化こそが、持続可能な社会を築くための重要な第一歩であると考えています。

本フォーラムでは、構造解析の理論的アプローチから、材料・施工・塗装・モニタリング技術に至るまで、橋梁のライフサイクル全体を通じた最新の維持管理技術を幅広く紹介します。

学術的な観点から構造物の解析手法を学ぶとともに、産業界からは、劣化環境に対応した塗装技術、三次元データを活用した維持管理サイクルの刷新、有害物質を含む塗膜処理を可能にするブラスト技術、レーザーによる下地処理と安全対策など、鋼橋分野における先進的な取り組みを紹介いたします。

また、コンクリート構造物の分野では、亜硝酸リチウムを用いた補修技術による鉄筋腐食抑制の最前線や、施工段階で生じる初期欠陥を制御するための方策など、長寿命化に直結する知見について紹介いたします。

維持管理に携わる技術者の皆様にとって、本フォーラムは、多様な視点から橋梁の未来をあらためて見つめ直す貴重な機会になると自負しています。

この学びの場が、橋梁の長寿命化、そして次世代へと受け継がれる強靱で持続可能な社会の実現へと結びつくことを心より願っています。

※本プログラムは土木学会認定CPDプログラムです。



開催日時

12月5日

10:00～17:00 (9:30開場)

会場

広島県民文化センター

広島市中区大手町1丁目5-3

<https://www.rcchall.jp/bunkac/>

定員

定員530名

定員になり次第締め切らせていただきます

参加費 / 無料

お申し込みはこちらから
お願いします



<https://www.j-cma.jp/?cn=101063>



広島県コンクリートメンテナンス協会

Time Schedule

12月5日(金) 開場9:30

開 会 趣旨説明 徳納 剛 (コンクリートメンテナンス協会 会長) 10:00~10:10

第 1 部 藤井 堅 先生 (広島大学名誉教授) 10:10~11:10

「構造物の現象を把握するための解析法と仮定・モデル化について」

休 憩 11:10~11:20

第 2 部 真田 祐介 氏 (日本ペイント株式会社) 11:20~11:50

「高防食耐久性塗料『ダンジオーラE下塗』のご紹介」

第 3 部 田尻 大介 氏 (DataLabs株式会社 代表取締役CEO) 11:50~12:20

「3D InfraLoopによる新たなインフラメンテナンスサイクルの確立」

昼休憩 12:20~13:20

第 4 部 鈴木 陸渡 氏 (大塚刷毛製造株式会社) 13:20~13:40

「鋼構造物塗装における有害物とその対策～PCB処理の動向～」

第 5 部 安井 久敬 氏 (福徳技研株式会社) 13:40~14:00

「マルチメディア・ブラスト工法について～研削材リサイクル型ブラスト工法～」

第 6 部 安本 学司 氏 (オブティレーザソリューションズ株式会社) 14:00~14:20

「レーザークリーナーによる施工と安全対策について」

休 憩 14:20~14:30

第 7 部 江良 和徳 氏 (コンクリートメンテナンス協会 技術委員長) 14:30~15:50

「橋梁の長寿命化を実現する亜硝酸リチウム補修技術の最前線」(仮題)

休 憩 15:50~16:00

第 8 部 十河 茂幸 先生 (近未来コンクリート研究会代表) 16:00~17:00

「施工で生じる初期欠陥を制御するための対策」(仮題)

※講演者、講演題目は変更される場合がありますのでご了承ください。

参加申込 参加費/無料
<https://www.j-cma.jp/>

■申込先/コンクリートメンテナンス協会のホームページよりお申込下さい。

※定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。

Lecture profile



藤井 堅 先生

■所属/インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー、広島大学名誉教授 ■専門/構造力学、構造工学、鋼構造、複合構造、橋梁工学、維持管理 ■資格/工学博士、技術士(鋼・コンクリート部門) ■所属学会/土木学会(名誉会員)、日本鋼構造協会 ■著書/座組設計ガイドライン、2005(分担)など ■賞/材料学会中国支部 功労賞、構造工学シンポジウム論文賞 ■主な経歴/1977年3月 広島大学大学院工学研究科土木工学専攻 修了 1977年4月 川田工業(株)1979年3月 広島大学 2017年3月 同上 退職



十河 茂幸 先生

■所属/近未来コンクリート研究会代表 コンクリートメンテナンス協会顧問 ■資格/工学博士、技術士(建設部門)、コンクリート診断士、1級土木施工管理技士、プレストレストコンクリート技士 ■所属学会/土木学会(名誉会員)、日本コンクリート工学会(名誉会員) ■著書/コンクリート名人養成講座(日経BP社)ほか多数 ■賞/セメントコンクリート論文賞(2回)、日本コンクリート工学会功労賞、日本コンクリート工学会技術賞



江良 和徳 氏

■所属/コンクリートメンテナンス協会 専務理事/技術委員長 ■業務内容/コンクリート構造物の調査・診断・補修・補強業務、亜硝酸リチウム関連技術に関する研究開発、その他、コンクリート構造物の維持管理に関する業務 ■資格/博士(工学)、技術士(総合技術監理部門、建設部門)、コンクリート診断士、コンクリート構造診断士、1級土木施工管理技士、プレストレストコンクリート技士、コンクリート技士、保育士、ほか ■所属学会/(公社)土木学会、(公社)日本材料学会、(公社)日本コンクリート工学会 ■賞/2009年 日本材料学会 論文賞、2010年 日本材料学会 技術賞



真田 祐介 氏

■所属/日本ペイント株式会社 マーケティング本部 ■業務内容/重防食領域における新商品の企画、導入およびプロモーション ■主な経歴/2006年 日本ペイント株式会社(現日本ペイントコーポレートソリューションズ)入社 防食領域の製品開発から技術サービス、営業業務に従事。2015年海外グループ会社日本ペイントシンガポール出向 現地での製品開発業務をマネジメント。帰国後、社内東大協創プロジェクトに従事し、2024年より現職に至る



田尻 大介 氏

■所属/DataLabs株式会社 代表取締役CEO ■業務内容/3次元データを用いたクラウド型システムの開発・提供、上記システム開発に関連する研究開発等 ■所属学会/コンクリートメンテナンス協会、RXコンソーシアム、土木学会 ■賞/土木学会 構造工学委員会 デジタルツイン・DX奨励賞、Morning Pitch Special Edition 2024 最優秀賞、令和5年度 インフラDX大賞 スタートアップ奨励賞、NEXCO中日本高速道路DXアイデアコンテスト優秀賞、アクセラレーションプログラム 未来X(mirai cross) 2022部門別最優秀賞、SONY Startup Switch2021グランプリ ソニー賞・LIXIL賞 ほか



鈴木 陸渡 氏

■所属/大塚刷毛製造株式会社 マーケティング2部 ■業務内容/建築・鋼構造物塗装関連資材販売 ■資格/鉛作業主任者、石綿作業主任者



安井 久敬 氏

■所属/福徳技研株式会社 ■業務内容/塗装工事、コンクリート補修工事、補修材料の販売・開発 ■資格/コンクリート診断士、コンクリート技士、1級土木施工管理技士 ■所属学会/コンクリートメンテナンス協会、広島県コンクリート診断士会、マルチ・プラスト協会 ■主な経歴/広島県立広島国泰寺高等学校卒業。法政大学工学部都市環境デザイン工学科で培った専門知識を基盤に、2012年より福徳技研株式会社に入社し、鋼構造物の塗替塗装、コンクリート構造物の調査・診断・補修までを一貫して行っております。



安本 学司 氏

■所属/オブティレーザソリューションズ株式会社 ■業務内容/レーザークリーニング装置・ULTLASERの製造及び販売 ■資格/レーザー施工士 ■所属学会/一般社団法人日本レーザークリーナー協会 ■主な経歴/平成29年4月 VERDANT HOLDINGS Co. Ltd シンガポール法人設立 令和5年10月 オブティレーザソリューションズ株式会社 設立 防衛省に国内で初めてレーザークリーナーを導入。その後、大手重工業・航空関連・自動車業界など幅広くレーザークリーナーの導入を展開。近年インフラ・メンテナンス業界等で民間及び公共工事など多数施工実績有り。令和7年5月 一般社団法人日本レーザークリーナー協会 設立 同年JLC工法を考案、NETISに申請。12月 登録完了予定 現在に至る